

平成 22年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

1. 共同利用種目 (該当種目にチェック)

- 特定共同研究(A) 特定共同研究(B) 特定共同研究(C) 一般共同研究
 地震・火山噴火予知研究 施設・実験装置・観測機器等の利用
 データ・資料等の利用 研究集会

2. 課題番号または共同利用コード 2010 - A - 01 (1411)

3. プロジェクト名、研究課題、集会名、または利用施設・装置・機器・データ等の名称

和文：ネットワーク MT 法観測による広域深部比抵抗構造の解明英文：Prospecting Nation-Wide Deep Resistivity Structure by Network-MT Survey4. 研究代表者所属・氏名 東京大学地震研究所・上嶋誠(地震研究所担当教員名) 上嶋誠

5. 利用者・参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	利用・参加内容または 施設,装置,機器,データ	利用・参加期間	日 数	旅費 支給
上嶋 誠	東大地震研究所・准教授	代表	通年度	50	無
村上 英記	高知大教育研究部・准教授	観測・データ解析	通年度	10	有
山口 寛	大阪市大理学部・教授	観測・データ解析	通年度	10	有
丹保 俊哉	立山カルデラ博・研究員	観測	通年度	10	有
望月 裕峰	東大地震研究所・技術職員	データ監視	通年度	10	無
吉村 令慧	京大防災研究所・助教	観測・データ解析	通年度	10	有
塩崎 一郎	鳥取大学工学部・准教授	データ解析	通年度	10	無
市原 寛	JAMSTEC	研究員	通年度	5	有

6. 研究内容 (コンマ区切りで3つ以上のキーワードおよび400字程度の成果概要を記入)

キーワード：比抵抗，地殻活動域，広域深部，ネットワークMT法，MT法

・本年度における観測研究

まず，参照磁場観測点として2010年11月から2011年2月にかけて京大防災研上宝地殻変動観測壕内，中竜鉦山坑道内に磁力計を設置し，観測を開始した．また，濃尾地震断層域での長基線地電位差観測準備を行い，岐阜県13エリア，福井県7エリアでの観測点を選定し電極設置工事を実施した．当初，2011年1月より観測を開始する予定であったが，積雪のため上記の設置工事が遅れ，2011年3月に上記20エリアのうち，岐阜県10エリアでの観測を開始した．

・従来データの解析（広帯域MT観測データも含む）

昨年度までに得られた北海道中東部，中部地方ひずみ集中帯周辺域，紀伊半島，九州における成果をまとめるべく解析をおこなった，ひずみ集中帯のデータについては，東側測線（婦中－秋神）については西側測線（高松－阿木）についてデータ解析を進め，2次元構造を推定した．また，北海道中東部や九州における3次元構造解析を進めた．また，庄内平野周辺域での広帯域MT観測結果をまとめ，論文として報告した．

7. 研究実績報告（公表された成果のリスト*¹または2000～3000字の報告書）

(*¹論文タイトル，雑誌・学会・セミナー等の名称，謝辞への記載の有無，ポイント数，電子ファイル添付のこと)

市原 寛，上嶋 誠，坂中伸也，小河勉，三品正明，小川康雄，西谷忠師，山谷祐介，渡邊篤志，森田裕一，吉村令慧，臼井嘉哉，日本海東縁ひずみ集中帯（庄内?新庄地域）の比抵抗構造イメージング，月刊地球,32-7,417-424,2010，謝辞への記載あり（6ポイント）．